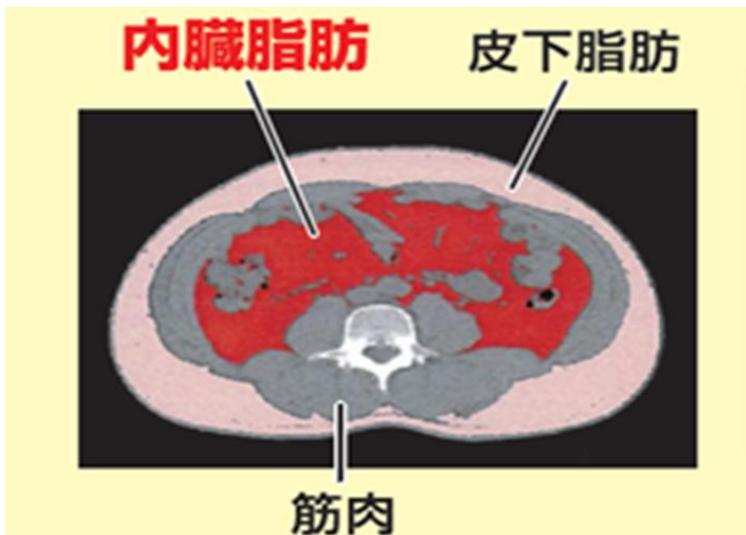


# 当院で内臓脂肪健診ができます

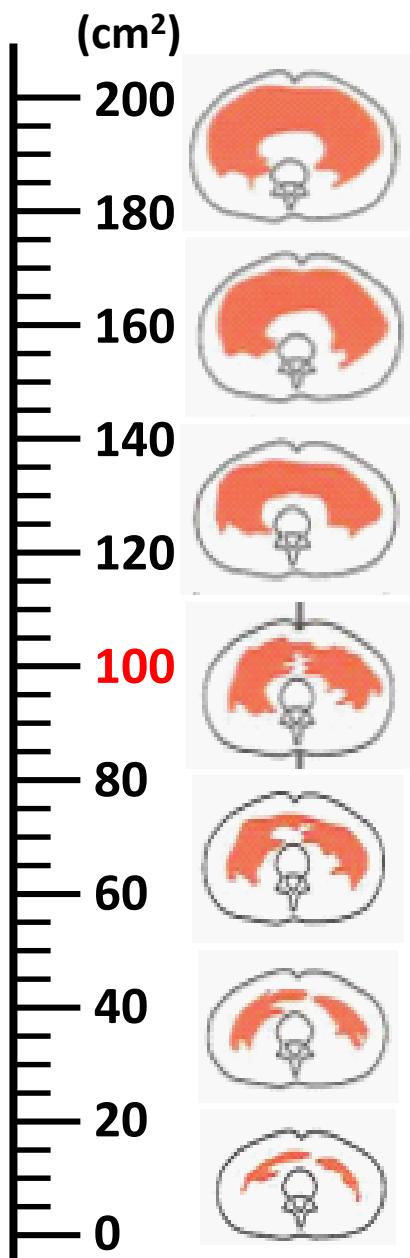
内臓脂肪の過剰な蓄積は、生活習慣病の発症進展と密接に関係しています。



腹部X線CT撮影による内臓脂肪検査(左図)は、主に人間ドックなどの健診目的で使用されていますが、実際にご自身の内臓脂肪面積をご存じの方はまだそれほど多くないと思います。当院に導入している内臓脂肪検査器は、“腹部生体インピーダンス法”という原理で測定し、おへそと背中の中に数秒間非常に弱い電流を流すだけで、自動的に腹囲と内臓脂肪面積が算出できます。

CT撮影と違ってX線被爆の心配がなく、非常に弱い電流で測定するので、一切何も感じませんし、痛くも痒くもありません。

## 内臓脂肪面積と腹部断面イメージ



おなかの奥深くで増えた内臓脂肪から分泌される様々な物質が、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などを引き起こします。

測定結果は面積(cm<sup>2</sup>)で表され100cm<sup>2</sup>を超える人は「内臓肥満症」です。

内臓脂肪を減らせば、血糖値、HbA1c、血圧、コレステロール、中性脂肪の数値はいずれも大きく改善されます。

定期的に測定することで、治療効果を実感し一層の改善を目指しましょう。



## 測定方法

—腹部にベルトを巻くだけで内臓脂肪面積を測定—



ボタンを押してから 約6秒で測定が完了

検査費用(健康保険適応外)は、初回測定 ¥ 1,500、二回目以降 ¥ 1,000です(初・再診料別途)。

測定が必要な患者様には医師・スタッフからお奨めしていますが、測定をご希望の方は、どなたでも遠慮なくご相談下さい。診療時間内であれば、いつでも予約なしで測定が可能です。